

ナイトハイクコースについて

コースは①キャンプ場コースと②高住神社コースがあります。どちらも英彦山の暗闇や静まり返った山、美しい星空を体験できます。

①のキャンプ場コースは、青年の家キャンプ場を抜け、自然歩道を通して添田町が運営しているキャンプ場の手前まで行って戻ってきます。

②の高住神社コースは、自然歩道を通してスギ林を抜けた後、114段の階段を上り、高住神社の境内まで行って戻ってきます。神社独特の怖さも体験することができます。

プログラム全体の所要時間

協力する力を高めるため、どちらのコースも各グループ（1グループ4～6人）が5分おきに出発することをおすすめします。各グループが歩く時間は、キャンプ場コースは約35分、高住神社コースは約45分です。その上、各グループの待ち時間やプログラムの説明時間が加算した時間が全体の所要時間となります。

参加者のゴール

参加者にはナイトハイク用の地図を配布してください。上部にミッションが書かれています。ミッションをクリアした後スタート地点まで戻り、指導者にミッションの解答を伝えればゴールです。

ミッションの答え

キャンプ場の答え→「山はともだち、山はせんせい」

高住神社コースの答え→「神牛」（「かみうし」または「しんぎゅう」）

安全指導（別紙も参照してください。）

- ・絶対に走らない。ゆっくりと歩く。
- ・山道は真ん中を歩く。車道は端を歩く。特に石場は注意。
- ・離れ離れにならず、まとまって歩く。
- ・ランタンをもつ人は責任をもてる人。グループの先頭を、ランタンで足元を照らしながら歩き、石や段差を見つけた場合にはすぐにグループの他の人に伝えること。
- ・ランタンを持った腕は下げ、必ず足元を照らす。
- ・道の両端にある整った石の上は滑るのでのらない。

ナイトハイク説明書

全ての物には表と裏、光と影があるように、英彦山にも2つの顔があります。昼の英彦山は、明るく穏やかな表情でみなさんを迎えてくれます。しかし、夜の英彦山は真っ暗に静まり返り、みなさんにとって少し怖い存在になるかもしれません。みなさんは「本当の暗闇」を体験したことがありますか？町の灯りも家の電気もありません。どこを見ても真っ暗な世界のことです。

今からみなさんにはその真っ暗な世界の中で、ミッションを達成してきてもらいます。地図を見てください。行先とミッションが書かれています。グループで協力し、その難しいミッションをクリアし、パワーアップして帰ってきてください。先生たちはここで待っています。

それでは、真っ暗な世界を歩く時に気を付けることをお伝えします。

- ① 絶対に走らず、ゆっくり歩きましょう。特に石場は気を付けてください。
- ② 山道は真ん中を歩き、車道は端を歩きましょう。
- ③ グループでまとまって歩き、離れ離れにならないようにしましょう。
- ④ ランタンをもつ人は重要です。グループの先頭に立ち、ランタンで足元を照らしながら歩いてください。石や段差を見つけた場合には、すぐにグループの他の人に伝えてください。

以上です。何か質問はありませんか。

英彦山

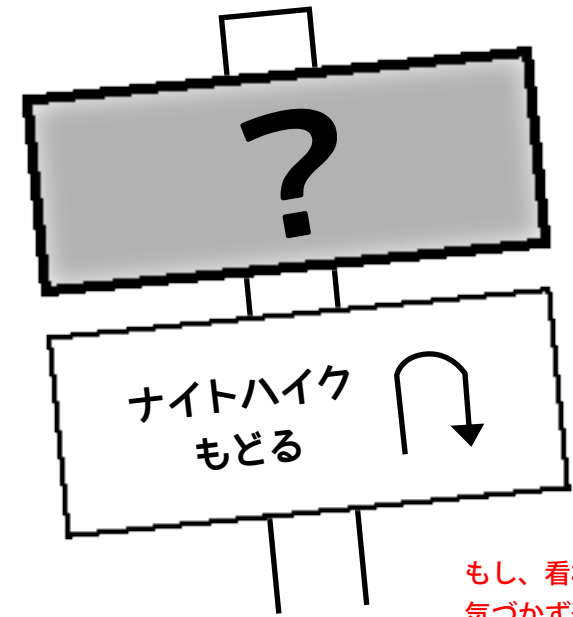
ナイトハイク

キャンプ場コース

★ 指導者配置例

仲間と共に勇気を出し、
なぞの看板に書かれた言葉を覚えてくるのだ

※ 参加者の実態に応じて、指導者が適切な場所に隠れ、参加者を驚かせても楽しいです。



もし、看板に気づかず通り過ぎた参加者がいたら声をかけます。



ここだ！

添田町野営場

看板付近に指導者が立つ場合は、添田町野営場のここに車をとめられます
(青年の家から車で約5分)

帰り道。天气のいい日は
ランタンの明かりを消してみよう
美しい星空が見えるぞ！

行きは道の歩き方を伝え、帰りは
ランタンの明かりを消させて
星空を眺めるのもいいです。

大きな石がゴロゴロ

大きな石がゴロゴロ

りょうたん ととの
道の両端にある整った石の上はすべてあぶない
ま真ん中を歩け

事前に段差の前にコーンを
置きましょう。

だんさ
右は大きな段差
左側を通れ

りょうたん みぞ
両端に溝
ま真ん中を通れ

キャンプファイサー場

スタート・ゴール

グラウンド

国道500号

★ プログラムの目的や道の歩き方の指導をしたり、
調べできた謎の言葉を聞いたりします。

英彦山

ナイトハイク

高住神社コース

★ 指導者配置例

仲間と共に勇気を出し、
なぞの牛の名前を調べてくるのだ！

高住神社



参加者の実態に応じて、適切な場所に指導者が隠れ、参加者を驚かせたりしても楽しいです。



この牛の名前は

○牛

車道だ。
端を一行で歩こう

大きな石がゴロゴロしている

みぞ溝をまたぐぞ
気をつける ★ こっちには行かない

溝があることや
車道の端を歩くことを
伝えます。

曲がらずまっすぐ行く

●スタート・ゴール

プログラムの目的や道の歩き方の指導をしたり、
調べてきた謎の言葉を聞いたりします。